

平成 26 年度防災事業実績について

1. 非常用食糧備蓄の整備

(決算見込 1,444 千円)

食糧及び生活必需品備蓄

区 分	購入数	26 年度末	目標値
クラッカー・ビスコ(食)	8,000	27,600	70,000
アルファ米(食)	750	7,700	31,700
粉ミルク(回)	960	1,920	—
飲料水(500ml)(本)	—	8,400	—
毛布(枚)	—	15,827	—
紙オムツ(大人・小人)(枚)	—	8,200	—

※目標値の考え方

平成 27 年 1 月 1 日現在 人口 66,685 人 目標値算出の基となる 人口 66,600 人	避難者を全人口の 30%とし、熱源使用不能状態が 2 日続く想定で必要とされる初期応急食糧数量 (2 日間の内最初の 1 食は、発災直後であり考慮せず、2 日で 5 食とした。) 99,900 食に帰宅困難者対応分 2,400 食 (800 人×3 食) を加え合計 102,300 食を備蓄目標に設定。【飲料水・米・生活必需品については、麒麟ビール始め 14 事業所と協定】
---	--

2. 耐震診断・耐震改修費補助事業

(決算見込 診断 695 千円 改修 3,000 千円)

■耐震診断

26 年度	
件数	執行額
15 件	695 千円

実績

年度	件数
平成 23 年度	60 件
平成 24 年度	30 件
平成 25 年度	35 件

■耐震改修

26 年度	
件数	執行額
3 件	3,000 千円

年度	件数
平成 23 年度	15 件
平成 24 年度	8 件
平成 25 年度	9 件

■耐震シェルター・防災ベッド購入補助 補助申請なし

■耐震改修相談会

と き：平成 26 年 10 月 10 日 (金) 午前 10 時～午後 5 時
相談者数：2 名

3. 地域防災リーダー養成講座の開催 (参加者：43 名)

第 1 回

と き：平成 26 年 4 月 27 日 (日) 午前 9 時～正午
会場：清洲市民センター 2 階 集会室
内容：講義「地域防災リーダーの役割・心構え」
グループワーク「自分の地域を防災の観点から評価する」
講師 特定非営利活動法人レスキューストックヤード 浦野 愛 氏

第 2 回 (防災講演会)

と き：平成 26 年 5 月 11 日 (日) 午前 10 時～11 時 45 分
会場：清洲市民センター ホール
内容：「南海トラフ巨大地震と液状化 二次災害に備える」
講師 名古屋工業大学都市社会工学科 教授 前田 健一 氏
参加人員 約 200 名

第 3 回

と き：平成 26 年 7 月 13 日 (日) 午前 9 時～正午
会場：清洲市民センター 2 階 集会室
内容：講義「清須市避難所運営マニュアルの運用」
講師 市役所防災行政課職員
講義・グループワーク「避難所運営ゲーム (HUG)」
講師 特定非営利活動法人レスキューストックヤード 浦野 愛 氏

4. 地域の自主防災訓練実績 (3 月 20 日現在)

■西枇杷島地区

実施町内会等 …… 20 町内会
ブロック合同実施 …… 9 ブロック
参加者 …… 945 人

■清洲地区

実施町内会等 …… 22 町内会
ブロック合同実施 …… 12 ブロック
参加者 …… 912 人

■新川地区

実施町内会等 …… 14 町内会
ブロック合同実施 …… 8 ブロック
参加者 …… 1,020 人

■春日地区

実施町内会等 …… 11 町内会
ブロック合同実施 …… 5 ブロック
参加者 …… 725 人

【主な訓練内容】…… 避難訓練、初期消火訓練、AED を使用した救命訓練、三角巾による応急手当、手づくりハザードマップ作成、図上訓練、炊き出し訓練、簡易担架を活用した救急訓練 など

5. 自主防災組織強化事業実績

(決算見込 ハード 4,816 千円、ソフト 513 千円、消火器 4,137 千円)

- 防災資機材購入補助(ハード事業)
21 ブロック…… 発電機、リヤカー、炊き出しセット、ヘルメット、救急箱 他
- 自主防災組織活性化事業(ソフト事業)
6 ブロック…… 地域ハザードマップの作成、防災センターでの体験学習、防災アンケートの実施
- 消火器等の購入補助
申請 51 件 …… 消火器、消火器格納箱の購入、消火薬剤の詰替え

6. 避難所配備用タブレット購入事業

(決算見込 761 千円)

避難所における情報収集を行うため、タブレット型端末を 23 台配備した。